

群馬中小企業家同友会
会 員 各 位

2021年5月吉日
群馬中小企業家同友会
代 表 理 事 田村 徳良
代 表 理 事 町田 英之
広 報 委 員 長 佐藤 孝志

『同友ぐんま (通号)』 広告掲載のお願い

謹啓 時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

さて、広報委員会では、機関誌である「同友ぐんま」を毎月定期発行しています。

つきましては、発行にあたり、会員の皆様に同友ぐんま（通常号・上半期分）への広告掲載をお願い申し上げる次第です。

何卒ご協力の程、宜しくお願い申し上げます。

敬具

【掲載予定】 上半期6回（6～11月号）
【広告料】 2万円（一口×6回掲載）
【スペース】 縦48mm×横87mm（一口分）
【送付先】 会員企業・オブザーバー参加企業・行政機関 など
☆群馬同友会HPにも「同友ぐんま」が掲載されます

* ご掲載いただけます場合には、お手数ですが下記申込書をご記入の上、**5月20日までに**FAXにてお送り下さいますようお願い申し上げます（電話でも受付ます）。

事務局 TEL027-232-0001

FAX 027-232-0666

-----キ-----リ-----ト-----リ-----セ-----ン-----

『同友ぐんま通常号・上半期』 広告掲載申込書

* 申込口数 _____ 口

* 原稿は右の通りです →

※前回の広告流用の際は、その旨お書き添えください。

会社名 _____

氏 名 _____

会員の皆様へ

---群馬中小企業家同友会 経営労働部会---

第26期「経営指針をつくる会」オリエンテーション

～経営指針てなに？ どうして必要なの？～

「同友会に参加すると何かにつけて“経営指針が大事”って言うけれど…実際のところ経営指針て何？ どうして必要なの？ つくる会では何をしてるの？」。そんな会員の皆さんに朗報！ 第26期「経営指針をつくる会」がスタートする前月に、昨年も好評だった「オリエンテーション（参加募集説明会）」を下記日程で開催します。前述の答えが知りたい方はもとより、参加を迷っている方、内容を知ってから決めたい方など、「経営指針をつくる会」への理解と参加を判断する機会にいただければ幸いです。皆様のご参加を心よりお待ちしております。

群馬中小企業家同友会
経営労働部会長 戸塚美秀

【開催概要】

◆日時 **7月2日（金）18時30分受付 19時～21時**

◆会場 ①同友会事務所 会議室 前橋市西片貝町1-300-5 TEL027-232-0001
②Zoomミーティング ★後日参加方法（ID・パスワード）をお送りします。

◆参加費 **無 料**

◆内 容 ①同友会がめざす経営指針とは？
(株)アイテクシステム 代表取締役 戸塚美秀 氏
(経営労働部会 部会長)



②経営指針作成で我が社はこう変わった！
未 定

③開催概要・カリキュラムの説明
(有)小板橋産業 代表取締役 小板橋哲也 氏
(経営労働部会 副部会長)



同友会事務局 TEL:027-232-0001

返信FAX:027-232-0666

第26期「経営指針をつくる会」オリエンテーション 参加申込用紙

会 社 名	役 職	氏 名	参加方法
			①現地 ・ ②Zoom

厳しい時代に負けない企業づくりを実践しよう！

第26期『経営指針をつくる会』参加者募集！

～「継続は力ない」参加するたびに会社が強くなる！～

同友会では「経営理念」「経営方針」「経営計画」の3つを総称して「経営指針」と呼んでいます。経営指針を作成する事は、航海に例えればその目的を全乗組員に明らかにし、航路と航海日程、航海図や羅針盤を整備し、トップである船長以下、全乗組員が力を合わせて目的地に進むということです。

同友会では会員同士、切磋琢磨する中で指針書を成文化し、社内へ指針書の浸透を図っていきます。環境変化を正確に分析し、自社の強みを伸ばし、弱みを補い、全社一丸となって強靱な会社をつくるために、是非「経営指針をつくる会」にご参加ください！

群馬中小企業家同友会
経営労働部会長 戸塚美秀

■期 日 2021年8月～2022年2月にわたる全6講（2日×6回）
各講とも2日間、午前9時～午後5時までを予定

■会 場 ①前橋問屋センター会館 前橋市問屋町2-2 TEL:027-251-1175 [1-3講]
②ピエント高崎 または Gメッセ群馬 [予定／4-6講]
★オンライン（Zoom）での参加も可能な限り対応いたします。

■参加条件 1、是非とも「成文化」し、浸透させたいという強い熱意のある方
2、全日程に参加できる方（原則として）
3、自社の財務内容の必要な部分を公開できる方（秘密は厳守します）

★幹部の方と一緒にご参加ください。もちろん1人での参加もOKです。
★申込者が都合で欠席となってしまう場合は、代理出席も可能です。
★全講受講者＋α、部分的な追加参加も受付けます（1名1日1万円）。
★補講（2～3回）では、個別指導も受けられます。
★初参加者と連続参加者のプログラムを一部分けて実施します。

■受講料 1社1名：75,000円（昼2食×6回、テキスト代ほか、すべての諸経費を含む）

■用意するもの 過去3年間の損益決算書、貸借対照表、減価償却明細書、得意先・商品別売上表、
電卓、ノート、筆記用具 ほか

■申込締切 最終×切：7月30日 ■定員40名 ※定員になり次第締め切ります。

■申込方法 参加申込書にご記入の上、お早めにメール or FAXにてお申込み下さい。

■振 込 先 申込後、受講料を下記口座にお振込みください。※受講料の返却はできません。
群馬銀行 片貝支店 [普]0296143 群馬中小企業家同友会
（振込手数料は貴社にてご負担ください）

■持ち物・スケジュール等、詳細につきましては、後日、ご連絡致します。

● 第26期「経営指針をつくる会」日程と主な内容 ●

新型コロナウイルスの影響により、日程・プログラムなどが
変更になる可能性があります。あらかじめご了承ください。

講座・テーマ	日 程	主 な 内 容
★第1講★ 「経営理念の作成と 深掘り」	8月6日(金) 8月7日(土) ＜9時～17時×2日＞	1) 経営指針書作成の目的と全体像 2) 体験談「わが社はこう変わった」 3) 経営理念について考える
★第2講★ 「経営理念のまとめと 自社分析」	9月3日(金) 9月4日(土) ＜9時～17時×2日＞	1) 経営理念の発表と意見交換 2) 講義「方針が会社に必要なわけ」 3) 商品、顧客、市場、人財の分析
★第3講★ 「経営方針の絞り込み と策定」	10月8日(金) 10月9日(土) ＜9時～17時×2日＞	1) 中期経営方針・年度方針の作成 2) 人財・財務、商品、顧客に対する方針 3) 組織図と会議制度の大切さ
★第4講★ 「経営計画づくりと 問題点の抽出」	11月12日(金) 11月13日(土) ＜9時～17時×2日＞	1) 売上計画の立て方 2) 経費計画の立て方 3) 講義「試算表と問題点の抽出」
★第5講★ 「経営計画づくりと 行動計画の作成」	12月10日(金) 12月11日(土) ＜9時～17時×2日＞	1) 営業計画・開発計画etc. の作成 2) 個人目標と行動計画 3) 理念から計画までのまとめ
★第6講★ 「経営指針発表会」	2月4日(金) 2月5日(土) ＜9時～17時×2日＞	1) 各社経営指針書の発表 2) 意見交換とアドバイス 3) 講義「経営指針書をどう活かすか」

《経営指針作成のメリット》

- ①企業経営に対する経営者の責務が明確になり、経営者自身の使命感、意欲を高めることができる。
- ②会社の目標が明確になり、社員のヤル気を引き出し、企業全体のパワーアップがはかれる。
- ③企業の社会的役割、性格、将来ビジョンが明確になるため、社員が企業に誇りをもち、働く意欲を増進させる。
- ④企業で今後採用すべき人材と、社員教育の方向が明確になることから、社員が自主的に学ぶ気風を職場に定着させることができる。
- ⑤社内の信頼関係を強め、団結がより強固なものになる。
- ⑥顧客・取引先・銀行など対外的にも信頼を得ることができる。

第26期『経営指針をつくる会』参加申込用紙

会 社 名	役 職	氏 名	備考

★定員を超える参加申込があった場合には、1社の参加人数を制限させていただきます。予めご了承ください。

参加申込先／同友会事務局 FAX:027-232-0666

【問合せ先】 群馬中小企業家同友会・事務局 TEL:027-232-0001 FAX:232-0666

経営指針をつくる会参加者の声

※抜粋

■自社の課題が明確に

指針づくりを通して、今まで曖昧だった会社の課題が明確になり、具体的な行動計画を立てることが出来ました。今期は行動計画に従って改善に専念し、再び経営指針をつくる会に参加しながら検証と計画づくりに、取り組んでいきたいと思います。

■毎年参加する意義

何度も参加されている企業の完成度の高さ、考え方などがとても参考になりました。経営指針を見直し続けていくことの意義を理解しました。これから自社も毎年参加し、時間をかけて完成度を上げていきたいです。

■経営者としてのスタート

これまで資金繰りは社長に任せっぱなしでしたので、経営者とは言え、苦手な数字は避け、理念においても特に強い思いも持っていませんでした。そんな自分でもやりたいことが見えたように思います。「どこがわからないのかわからない…」というスタートでしたが、わからない箇所が明確になったのはかなりの進歩でした(笑)。

■幹部社員と参加して

経営指針をつくる会に参加して、多くの会社の経営指針を参考にできた事は、大きな収穫でした。その中で、自社の指針に足らないものが見えてきたような気がします。また、幹部と共に参加し、とてもいい刺激になったと思います。次年度も共に計画をつくり込んでいくつもりです。

■会社への思いがより強く

自分の考えが整理でき、よりいっそう会社を思う気持ちが強くなったと実感しています。経営指針が何かも分からずに参加しましたが、参加して本当に良かったです。毎年続けて作成するよう頑張ります。

■共に成長する姿に感動

会社の経営状況がどうなっているかが理解できるようになり、自分が何をしなければならないかが少しずつ見えてきました。また、自分の会社を良くして行こうという経営者の方々が、共に成長している姿に感動しました。共に頑張る仲間がいるから、さらに頑張れるのだと思います。

■これからが本番

指針書を会社に浸透させるなかで色々と問題点も見えてきました。これからが本番だと感じています。そうしたプロセスを新しく参加する皆さんにもお伝えできればと思います。自分の会社が良くなること、仲間の会社も良くなることを、この会で実践していきたいです。

■必要不可欠な時間

経営指針づくりは未来を見据える作業だと思います。未来を見るために過去を知ることとか、外部環境、内部環境、同業他社を知ること必要です。そして自分は何をしたいのか、ビジョンも深掘しなればなりません。この時間は必要不可欠だと思います。

■後継者とともに

長年、継続して参加していますが、今回初めて後継者とともに参加しました。じっくり決算書を見ながら意見交換するなど、日頃の社内での慌ただしい時間とは違った時を過ごすせて有意義でした。とても感謝しています。